

教育センターだより

第438号
令和3年1月29日発行
福岡市教育センター
(授業力向上支援センター)
TEL 822-2875
発行者 梶原 由紀子
編集者 中村 智和

リモート型と集合型のハイブリットでの研修

教育センター所長 梶原 由紀子

先日はお忙しい中、校長先生と人権担当者の方にはリモートで実施した研修会に参加していただきまして有難うございました。初めての試みでしたが「発言や議論が活発化し、対面に比べても相互コミュニケーションのストレスが少ない。」「受講者の表情なども、画面を通じて全員が共有することができるので、緊張感が維持できる。」また、「集中力が求められる研修だった。」といったご意見を数人の校長先生方から戴きました。

長年行われてきた集合研修にはそれなりの利点があるから続いてきたと言えます。ただ、受講者の参加態度が受動的になってしまうとか、集中力が続かないなどの問題もありました。

自身も研修講師を行った際、問題に直面したことがあります。受講者の表情を確認しながら講義内容をアレンジしたいと思うのですが、短時間でそこまではなかなか読み取れない。眠そうでモチベーションが低い受講者がいても、十分にケアすることもできない。そんなジレンマを感じたことがありました。

一方、リモートであれば受講者の顔をまんべんなく見ながら講義を行うことも可能になります。反応を見ながら、指名してコメントを求めることも容易です。先週、採用候補者の研修を、リモートで行っていた指導主事に参加者の様子を尋ねたところ、まんべんなく指名してコメントする機会を作ることで参加者の緊張感が保たれ、研修効果の高まりを感じたようでした。

ただ、講師には、新たなスキルとして、対面とはまた違うリモートならではのファシリテーション力が求められます。集合型のように同じ場にはいないだけに、その場の空気を読んで受講者の発言を仕切るのも容易ではありません。全員の顔が見えてはいるのですが、話をどこで終わりにすべきか、空気感でタイミングを見極めるのが難しい、という傾向もあります。「以上ですね」と終わらせる判断力や、複数の意見をとりまとめる工夫も必要になります。

このようにリモートの研修には新たな準備も必要ですが、得られる研修効果を考えれば、今後も活用を検討する必要があります。

今後、教育センター主催の研修につきましては、単に従来の集合研修に戻すのではなく、これを機会にリモートで行うべきことと集合で行うべきことをしっかりと見極めて、効果の高い研修の仕方を実現させたいと考えております。

初任者研修1年次

(担当 平山)



1月13日(水)に初任者研修1年次の校外研修(対象:高・養・栄・他)を実施しました。研修内容は、高校教諭と他府県・他郡市転入教諭は「生徒指導の基礎・基本」と「人権教育」、養護教諭と栄養教諭は「人権教育」と「教育相談」「1年次の振り返りと2年次に向けて」です。対象者にとっては、今年度最後の校外研修でした。みなさん、意欲的に研修に取り組んでいました。

また1月～3月に第3回訪問研修(対象:小・中・特・高)を実施します。緊急事態宣言下、2月7日までの研修をZoomによる方法に変更し、学校ごとに、担当主事と1年次の先生が双方向でやりとりしながらの研修です。「教育相談」「学級経営」「1年次の振り返りと2年次に向けて」の内容を、1年次の先生方の担当学級や授業の様子などについて、具体的に指導主事が指導や助言を行っています。

指導主事によるZoom研修



1/13 校外研修



校長・人権教育担当者研修

(担当 大曲)



令和3年1月22、25、27日の3日間、令和2年度校長・人権教育担当者研修を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、遠隔会議システム(Zoom)を活用しての開催となりました。

『特定職業従事者として「自覚する」「行動する」「連携する」人権教育の推進』をテーマに、各校の実態や課題、取組、成果と課題等について意見交流・協議を行いました。

新しい生活様式の中での人権教育の推進に関して、目の前の子どもたちのため、各校で工夫された様々な取組が行われていることに心より感謝いたします。

また、部落解放同盟福岡市協議会、福岡市人権教育研究会、福岡市進路保障研究会の皆様から、御助言とともに各学校に期待する力強いメッセージもいただきました。本当にありがとうございました。

多様性を認め合い、自分も他の人も大切にすることができる子どもたちを育成するため、校長先生のリーダーシップのもと、今後も着実に人権教育を推進していただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



授業力向上支援センターより

新刊図書(後期分)入荷しました!

貸出しは、e本メールサービスでもご利用いただけます。お気軽にお問合せください。(TEL 822-2836)

宿題で子ども自身が学びのPDCAを回し、「自分なりの学び方」を獲得していく「けてぶれ学習法」を紹介しています。

「けてぶれ」宿題革命!

子どもが自立した学習者になる!

高橋 祥太

先生、勉強が
おもしろくなった!

宿題で子ども自身が学びのPDCAを回し、「自分なりの学び方」を獲得していく「けてぶれ学習法」を紹介しています。

「け=計画」
「て=テスト」
「ぶ=分析」
「れ=練習」
という、学びのPDCAをまわしていき学習法です!

「Zoomで朝の会」など、カンタンに取り組める

小学校はじめてのオンライン授業

樋口万太郎・堀田麗也 編著

実践がいっぱい!

はじめての先生や学校でも、ごくごくカンタンに取り組みやすい方法が満載!

無理なく取り組める実践例がたくさんあり、自分の学校や教室でのアレンジのアイデアもどんどん膨らむ!

子どもたちとつながるための使いやすいツールや方法もわかる待望の1冊!

オンライン講座を実施する講師の例を中心に、オンライン・コミュニケーションの極意をまとめたオンライン講座ならではのノウハウや、顧客との距離感の取り方や雑談の仕方などオンライン営業などに活用できるコツも満載しました。

資料準備から話し方、飽き防止のコツまで!

リアルとは異なるオンライン講座のノウハウも、オンラインの人気講師が伝授!

この一冊で、オンラインでの高品質プレゼンも安心!

オンライン講座を実施する講師の例を中心に、オンライン・コミュニケーションの極意をまとめたオンライン講座ならではのノウハウや、顧客との距離感の取り方や雑談の仕方などオンライン営業などに活用できるコツも満載しました。

